

都市計画課長 様

## 日野市町名地番整理審議会に関する嘆願書

いつもお世話になっております。

2020年1月28日の都市計画課と宮自治会との話し合いについての補足として以下の事実を追加します。

第24期第2回日野市町名地番整理審議会議事録に重大な誤情報が含まれておりますので訂正お願い致します。

議事録の8ページの会長の発言の末尾に、「会長：別府神社だけ宮に戻す、無理やり宮にくっつけるという風に言えるかも知れませんが、話を落ち着かせるという方法が提案されていますね。これは宮の臨時総会の中で提案された案ということでよろしいですね？事務局：はい、臨時総会で説明する中で、大字宮にお住まいの方と万願寺にお住まいの方達両方の意見の妥協案として出たものであり、双方ある程度の合意に至った案になります。」との記載がありますが、これは重大な誤りです。

この臨時総会を招集し、当日司会をしていた私宮自治会長として申し上げますが、この臨時総会は都市計画課の説明を聞く機会として設定したもので、意見を言うことは自由ですが、何かを決定するための会ではありません。ですから、自由に発言してもらい、まとめることも、提案することもしていません。

万願寺に住んでいる2名の方が、住所変更は面倒だから絶対にやりたくない！家を買った時、住所が変わるといふ説明はなかった！おかしいじゃないか！と強烈に不満を前面に押し出して2時間言い続けるという異常とも思えるような行動に出たので、それ以外の宮の方は圧倒されてほとんど何もいえない状況に陥りました。その中で、それでも別府神社の地名だけは宮のままにして変えてほしくないという泣き言のような意見が出たのであって、万願寺の方が余りに攻撃的なので、それ以上は言えないという事態でした。この会は説明を聞く機会ではなかったため、放置しておいたのですが、万願寺の方が別府神社だけ宮に戻せばいいのではないですかと勝手にまとめの発言のようなことを言ったというのが事実で、臨時総会として案や意見をまとめたという事実はありません。

それを事務局の方が誤解して「大字宮にお住まいの方と万願寺にお住まいの方達両方の意見の妥協案として出たものであり、双方ある程度の合意に至った案になります。」と説明しているのは明らかな誤りです。

もう一度言いますが、臨時総会として案や意見をまとめたという事実はありません。合意に至ったという事実もありません。

宮の人々の公式の声は、市議会で採択された「請願 第15-10号 「宮」町名の存続、及び万願寺に繰り入れられた「宮」地区の見直しを求める請願」、これの

みです。これ以外にはありません。

事務局の誤った発言により市町名地番整理審議会が進められているのは到底承服できません。

早急に訂正して下さるよう嘆願致します。

令和2年2月2日

